

農林水産省におけるスマート農業技術の 活用の促進に向けた取組について

スマート農業技術の活用の促進に向けた取組について（全体概要）

スマート農業技術活用促進法に基づく計画認定

- ◎ 令和6年10月の法施行以降、**令和8年2月24日時点**で、**生産方式革新実施計画97件、開発供給実施計画49件、計146件**を認定

予算

- ◎ スマート農業技術活用促進法に基づく認定事業者に対して、環境整備や各種支援事業の優遇措置等により集中的かつ効果的に支援を行うため、**令和7年度補正予算、令和8年度当初予算**において「**スマート農業技術活用促進集中支援プログラム**」を措置
- ◎ 令和7年度補正予算、令和8年度当初予算などを含む、「スマート農業技術活用施策パンフレット」を更新（資料4）

開発と普及の好循環の形成する官民連携の推進体制（IPCISA）

- ◎ スマート農業イノベーション推進会議（IPCISA）は令和7年度から本格的に活動を開始
- ◎ **情報の収集・発信・共有、関係者間のマッチング支援、人材育成、技術的な検討等**を通じて、コミュニティ形成を推進

スマート農業技術活用促進法に基づく計画認定

スマート農業技術活用促進法※の概要

※農業の生産性の向上のためのスマート農業技術の活用の促進に関する法律

- 農業者の減少等の農業を取り巻く環境の変化に対応して、農業の生産性の向上を図るため、
- ①スマート農業技術の活用及びこれと併せて行う農産物の新たな生産の方式の導入に関する計画（**生産方式革新実施計画**）
 - ②スマート農業技術等の開発及びその成果の普及に関する計画（**開発供給実施計画**）
- の認定制度の創設等の措置を講ずる。

農林水産大臣（基本方針の策定・公表）

【法第6条】

（生産方式革新事業活動や開発供給事業の促進の意義及び目標、その実施に関する基本的な事項 等）

↑ 申請

↓ 認定

↑ 申請

↓ 認定

①スマート農業技術の活用及びこれと併せて行う農産物の新たな生産の方式の導入に関する計画（**生産方式革新実施計画**）

【法第7条～第12条】

【生産方式革新事業活動の内容】

- ・**スマート農業技術の活用と農産物の新たな生産の方式の導入をセット**で相当規模で行い、農業の生産性を相当程度向上させる事業活動

【申請者】

- ・生産方式革新事業活動を行おうとする農業者等※¹（農業者又はその組織する団体）

※¹ 継続性や波及性を勘案し、複数の農業者が有機的に連携して取り組むことが望ましい

（スマート農業技術活用サービス事業者や食品等事業者が行う生産方式革新事業活動の促進に資する措置を計画に含め支援を受けることが可能）

【支援措置】

- ・日本政策金融公庫の長期低利融資
- ・行政手続の簡素化（ドローン等の飛行許可・承認等）など

②スマート農業技術等の開発及びその成果の普及に関する計画（**開発供給実施計画**）

【法第13条～第19条】

【開発供給事業の内容】

- ・農業において特に必要性が高いと認められる**スマート農業技術等※²の開発**及び当該スマート農業技術等を活用した**農業機械等又はスマート農業技術活用サービスの供給を一体的に行う事業**

※² スマート農業技術その他の生産方式革新事業活動に資する先端的な技術

【申請者】

- ・開発供給事業を行おうとする者（農機メーカー、サービス事業者、大学、公設試等）

【支援措置】

- ・日本政策金融公庫の長期低利融資
- ・農研機構の研究開発設備等の供用等
- ・行政手続の簡素化（ドローン等の飛行許可・承認）など

3

【税制特例】①の計画に記載された設備投資に係る法人税・所得税の特例（特別償却）、②の計画に記載された会社の設立等に伴う登記に係る登録免許税の軽減

スマート農業技術活用促進法の計画認定実績について（生産方式革新実施計画）

◎生産方式革新実施計画 97件認定済み（R8年2月24日時点）

各計画の概要は
農林水産省HPで
公開しております



農林水産省HP

九州・沖縄 13件

佐賀県 1件（水稲1件）
熊本県 2件（麦・大豆1件、施設野菜1件）
宮崎県 8件（水稲4件、施設野菜1件、露地野菜1件、畜産1件、複数品目1件）
鹿児島県 1件（施設野菜1件）
沖縄県 1件（さとうきび1件）

中国・四国 15件

鳥取県 1件（水稲1件）
岡山県 3件（水稲3件）
山口県 2件（水稲2件）
徳島県 2件（水稲1件、露地野菜1件）
香川県 4件（水稲4件）
愛媛県 2件（果樹2件）
高知県 1件（施設野菜1件）

北陸 7件

新潟県 2件（水稲2件）
富山県 2件（水稲2件）
石川県 2件（水稲1件、畜産1件）
福井県 1件（水稲1件）

北海道 8件

北海道 8件
（水稲1件、麦・大豆3件、露地野菜2件、畜産1件、複数品目1件）

東北 26件

青森県 6件（麦・大豆1件、施設野菜1件、露地野菜1件、果樹3件）
岩手県 1件（水稲1件）
宮城県 4件（水稲3件、露地野菜1件）
秋田県 3件（水稲2件、露地野菜1件）
山形県 10件（水稲6件、果樹1件、そば2件、複数品目1件）
福島県 2件（水稲1件、花き1件）

関東甲信・静岡 10件

茨城県 2件（水稲2件）
栃木県 3件（水稲2件、そば1件）
千葉県 2件（水稲1件、施設野菜1件）
神奈川 1件（畜産1件）
長野県 1件（水稲1件）
静岡県 1件（果樹1件）

近畿 4件

京都府 2件（畜産1件、複数品目1件）
兵庫県 1件（複数品目1件）
和歌山県 1件（露地野菜1件）

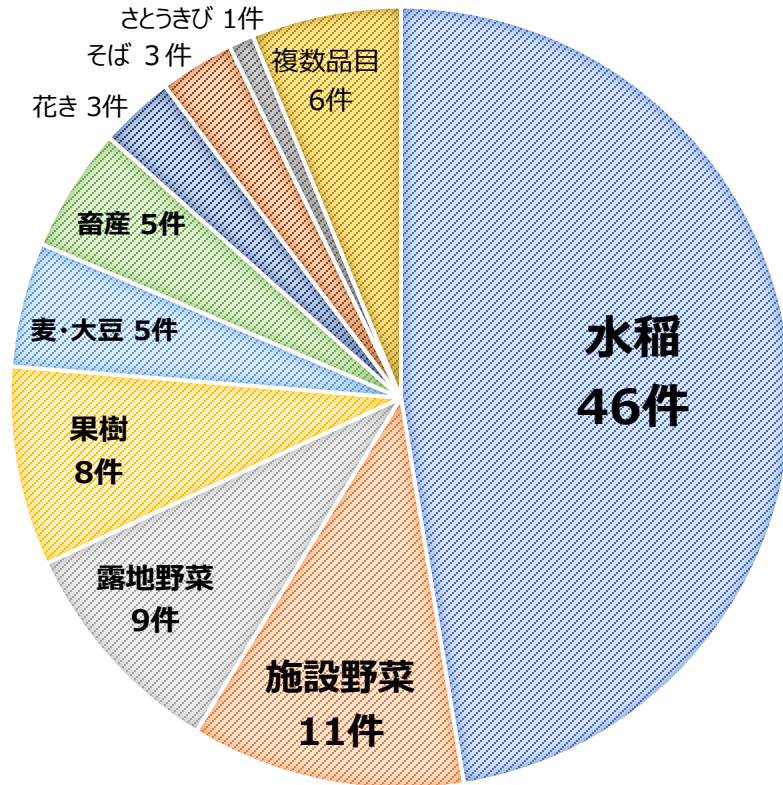
東海 14件

愛知県 6件（施設野菜3件、露地野菜1件、花き2件）
三重県 8件（水稲4件、施設野菜2件、果樹1件、複数品目1件）

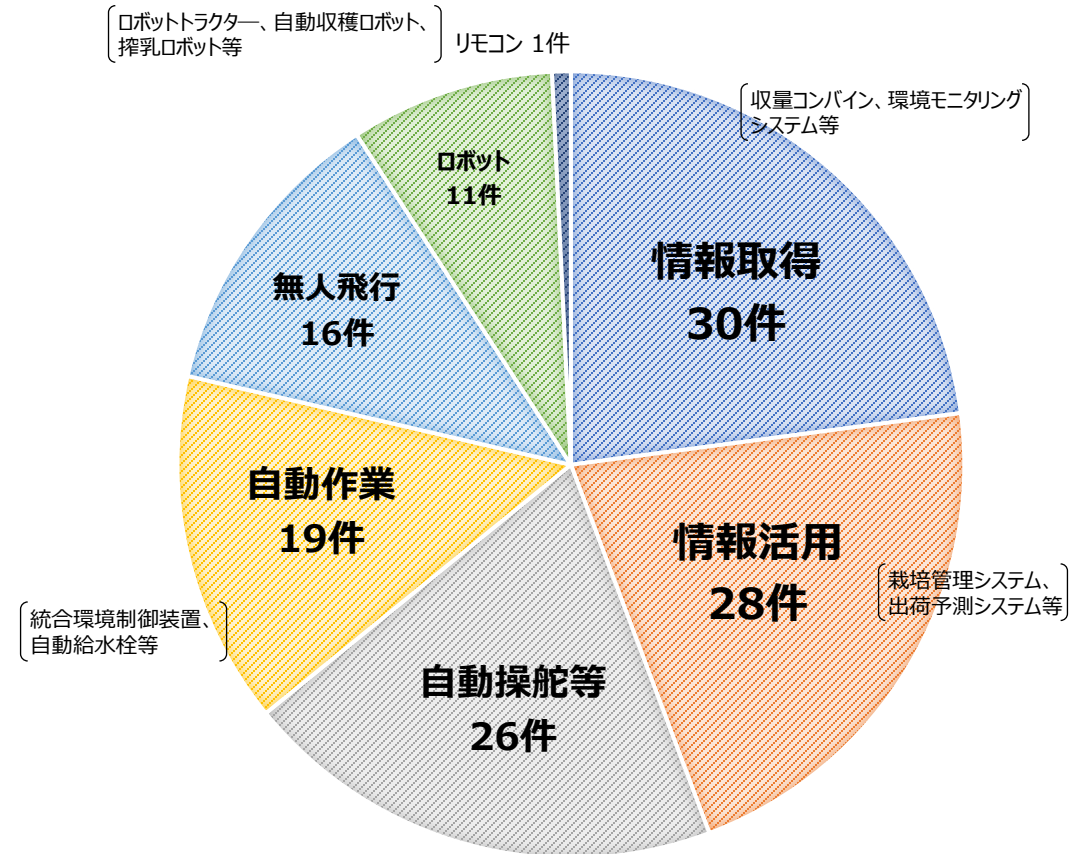
生産方式革新実施計画の認定実績について（品目別・スマート農業技術別）

品目別 認定件数

認定件数 計97件



スマート農業技術数



(注) 1つの認定計画に複数のスマート農業技術、複数の「新たな生産方式」が含まれる場合があるため、認定計画数とスマート農業技術数、「新たな生産の方式」の数は一貫しない。
 自動操舵等には、自動操舵のほか、直進アシストを含む。
 無人飛行には、農業用ドローン、農業用無人ヘリコプターを含む。

生産方式革新実施計画の認定事例について

株式会社ヒラキファームの事例

取組の概要

(三重県伊賀市)

スマート農業技術：農業用ドローン

新たな生産方式：作期の異なる品種の導入を通じた作業期間の延長によるスマート農機の稼働率の向上

- 水稻の栽培において、**農業用ドローンを活用し、防除作業効率を向上**させる。
- 作期の異なる品種の導入を行い、農業用ドローンの稼働面積を拡大することで、労働生産性向上の効果を増大。

株式会社 ヒラキファーム

労働生産性の向上

農業用ドローン

農薬の散布



作期の異なる品種の導入

作業期間の延長

労働生産性向上効果の増大

下鹿追コンバイン利用組合の事例

取組の概要

(北海道鹿追町)

スマート農業技術：収量計測機能付きコンバイン、栽培管理システム

新たな生産方式：組合員間のデータ共有・分析を通じたほ場ごとの適正施肥等の実施

- 小麦の栽培において、収量計測機能付きコンバインと栽培管理システムを導入。
- 得られたデータを組合員間で共有・分析し、**収量データに基づく肥培管理・収穫時期の適性化**を行うことで、品質・収量を向上させる。

下鹿追コンバイン利用組合

品質・収量の向上

収量計測機能付き
コンバイン

栽培管理システム

収量データ等に基づく肥培管理・収穫時期の適性化



データ共有・分析

組合内の複数の生産者のデータに基づく適正施肥等

品質・収量向上効果の増大

スマート農業技術活用促進法の計画認定実績について（開発供給実施計画）

〇開発供給実施計画の認定状況（令和8年2月24日現在、計49件）

	事業者名	概要		事業者名	概要		事業者名	概要
水田作	三陽機器(株)	除去が難しい水田の中畔にも対応可能な自律走行型自動草刈機		(株)アクト・ノード	かんきつ栽培のための「デジタルデータ統合型マルチ自動灌水システム」	農作業共通	グローバルマイクロニクス(株)	砂丘地域でのスイカ栽培における自動灌水システム
	(株)ユニック	中山間地域の急傾斜面等で草丈の高い雑草にも対応可能な自動電動草刈りロボット(※)		愛媛大学	急傾斜地対応型かんきつ自動摘果・収穫・運搬ロボット		(株)ほくつう	インターネットを介さずとも利用可能な自動水管理システム
	(株)NEWGREEN	水管理システムとの自動連携・水位調整機能等を有した自動抑草ロボット		三重大学	かんきつの収穫・運搬ロボットと双幹苗木の供給		摂南大学	微気象データ等からサトウキビに最適な灌水を自動で行うシステム
	(株)クボタ	高頻度での位置情報を記録可能なトラッキングデバイス(※)		(株)デンソー	ぶどうの栽培管理作業や収穫・運搬作業が可能な作業支援ロボット		摂南大学	微気象データ等からサトウキビに最適な灌水を自動で行うシステム
畑作	三菱農機販売(株)	播種状況の自動確認が可能な畑作向け播種機用後付けシードセンサー	果樹・茶作	山梨大学	ぶどうの等級・規格判定が可能なAI選果機	(株)ビジョンテック	大豆等栽培向け土壌水分予測・制御アプリ	
	フタバ産業(株)	雑草の成長点等にピンポイントに照射するレーザー除草・害虫防除ロボット		ヤンマーHD(株)	リンゴの摘果・収穫作業の自動化ロボット	エアロセンス(株)	異なるメーカー間のセンシング機器等のデータ処理を可能とするシステム及び高精度生育マップ	
露地野菜・花き作	(株)FieldWorks	畝間の自動除草・防除が可能な親子式の自律走行型除草・防除ロボット(※)		鳥取大学	ナシ・リンゴ向けの花粉の省力採取・精製システム	(株)クボタ	高撮影頻度の衛星リモートセンシングシステム	
	京都大学	自動充電可能で中山間地域にも対応し草刈・防除作業を自動で行う電動農機(※)		(株)NTT e-Drone Technology	傾斜地の柑橘防除等に活用可能な国産大型ドローン	(株)INS	シイタケ菌床栽培の自動環境制御とスマートグラスを用いた作業効率化システム	
	ヤンマーアグリ(株)	運転及び収穫操作を自動化するキャベツ自動収穫機		ドローンプロフェッショナルサービス(株)	急傾斜地の果樹防除に活用可能なドローン用高圧噴射システム	GREEN OFFSHORE(株)	他社製品とも連携可能で低コストで導入可能な環境制御システム	
	川辺農研産業(株)	果実の正確な認識技術と3軸直行ロボットを用いたカボチャ自動収穫ロボット		東京ドローンプラス(株)	果樹や露地野菜向け高出力噴射機能を有する農薬散布ドローン及び農薬散布代行サービス(※)	ジャパンプレミアムベジタブル(株)	イチゴ・トマト等の周年栽培を実現する環境制御システム	
	プロダクトソリューションエンジニアリング(株)	花蕾の大きさを自動判別し収穫を行うブロッコリー収穫機		AutoCover(株)	ドローンを使用したおおい茶の被覆資材の被覆及び除去サービス	(株)ミライ菜園	適期の予防的防除を支援する病害虫予測AIと農業提案AIを統合した防除DXアプリ	
	立命館大学	だいの葉切り・洗浄設備や選別機への、ロボットハンドでの自動搬入システム		カワサキ機工(株)	有機栽培茶向けの栽培管理システムと連携した防除・除草作業機	(株)アイ・モビリティプラットフォーム	既存のスピードスプレイヤに後付け装着が可能な無人運転装置	
施設野菜・花き作	ピクシーダストテクノロジー(株)	トマトやイチゴ等向けの自動航行小型受粉ドローン・自律走行型害虫吸引ロボット(※)	畜産・酪農	Workauto(株)	果樹園等位置情報が不十分でも対応可能な自律走行型自動草刈機(※)	(株)Root	スマートグラス用のAR技術を用いた農作業補助アプリ	
	(株)デンソー	房取りミニトマト全自動収穫ロボット		(株)城南製作所	人を追従して走行する追従運搬車	(株)ビジョンテック	有機大豆における除草回数の削減に資する除草適期診断アプリ	
	(株)アイナックシステム	イチゴ、トウガラシ、ミニトマトの自動収穫に対応可能な自動走行型収穫ロボット		山形東亜DKK(株)	遠隔での運転管理が可能な畜産業における排水処理省力化システム	(株)北電興業	搾乳作業の最適化に向けた指示・提案を行う多言語対応システム	
	ベジタリア(株)	アスパラガスの収穫・運搬・粗選別を行うAI自動収穫ロボット		(株)アクト・ノード	鶏舎環境自動制御等を行うデジタル統合型養鶏生産管理システム			
	三井金属計測機工(株)	自動でイチゴを重量別に仕分け、向きを揃えてパック詰めを行う選別装置		ARAV(株)	家畜排せつ物管理を省力化する堆肥化ロボット			
	TOPPANデジタル(株)	ししとうの選別包装作業の完全自動化装置及び営農活動管理システム						

※複数の営農類型等に該当する計画については、主に利用可能な営農類型等に分類。

開発供給実施計画の認定事例について

学校法人立命館（立命館大学）の事例

取組の概要

開発・供給を行うスマート農業技術：だいこんの葉切り・洗浄設備や選別機へのロボットハンドでの自動搬入システム

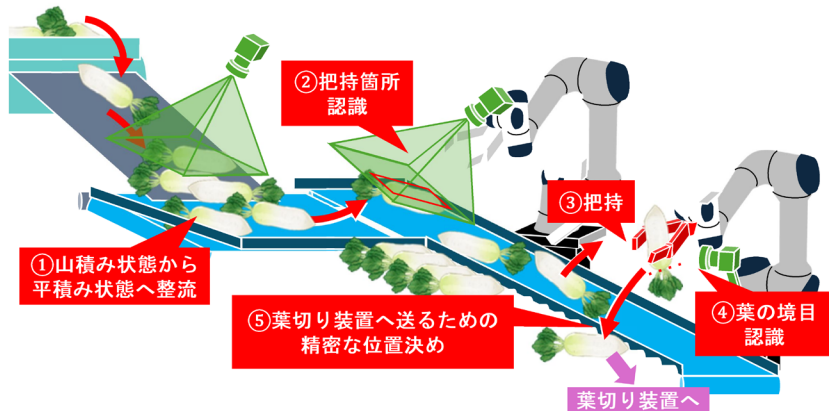
- だいこん洗浄選別施設における、葉切り・洗浄設備や選別機への、**ロボットハンドを用いた整列・位置合わせ作業**を行う、自動搬入技術の開発及び供給。

<本技術による生産性向上の効果>

- 「露地野菜・花き作」の「選別、調製及び出荷」のうち「ラインへの自動搬入機等による選別又は洗浄作業の省力化に係る技術」により労働時間60%削減に資する技術

〔だいこんの葉切り・洗浄設備及び選別機への整列・位置合わせ作業の労働時間の削減〕

<開発技術のイメージ>



※画像認識、重量野菜の把持ハンド、これらを統合したロボット制御システムにより、大根の自動搬入技術を構築

株式会社アクト・ノードの事例

取組の概要

開発・供給を行うスマート農業技術：鶏舎環境自動制御等を行うデジタル統合型養鶏生産管理システム

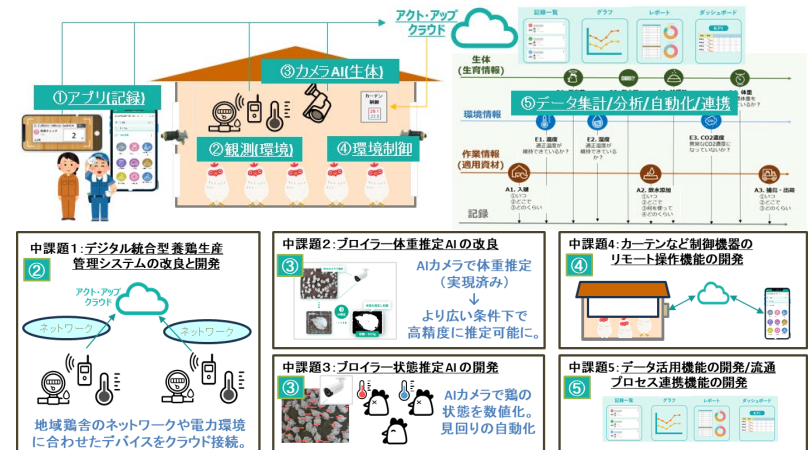
- 養鶏ブロイラー生産等の省力化と生産量の増大に係る、**体重推定や生体の状態の数値化、鶏舎環境自動制御等を行うデジタル統合型養鶏生産管理システム**の開発及び供給。

<本技術による生産性向上の効果>

- 「畜産・酪農」の「飼養管理」のうち「画像センシング等による発情・疾病検知等の生体情報取得の省力化に係る技術」により労働時間60%削減に資する技術等

〔畜産・酪農における飼養管理に要する労働時間等の削減〕

<開発技術のイメージ>



※環境センサー、環境制御のIoT化とカメラAIを用いた生体情報のデジタル化を進め、国内の多様な養鶏生産環境において生産データのデジタル統合と養鶏生産のDX化を実現

予算

<対策のポイント>

スマート農業技術活用促進法に係る生産方式革新事業活動を行う農業者等や開発供給事業を行う者に対して、**スマート農業技術を活用するための環境整備**や**各種支援事業の優遇措置**等により集中的かつ効果的に支援を行い、栽培方式の転換やスマート農業技術等の開発を促進し、農業の生産性の向上を図ります。

<政策目標>

スマート農業技術の活用割合を50%以上に向上〔令和12年度まで〕

<事業の全体像>

生産方式革新事業関係

認定生産方式革新事業者が行う**スマート農業技術の活用と新しい生産方式の導入の取組**に対し、予算上の優遇措置等を設定し、集中的に支援します。

- ・スマート農業・農業支援サービス事業導入総合サポート事業【R8当初】
- ・スマート農業・農業支援サービス事業導入総合サポート緊急対策【R7補正】
- ・持続的生産強化対策事業のうち果樹農業生産力増強総合対策【R8当初】
- ・強い農業づくり総合支援交付金【R8当初】
- ・産地生産基盤パワーアップ事業【R7補正】
- ・地域農業構造転換支援事業【R8当初、R7補正】 等

【支援イメージ】



ドローンによる直播



収穫コンバイン

スマート農業機械の導入



果樹の省力樹形への改植

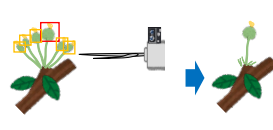
技術に適した生産方式への転換

開発供給事業関係

認定開発供給事業者が行う**本法に基づく重点開発目標に沿った開発・実用化の取組**に対し、予算措置上の優遇措置等を設定し、集中的に支援します。

- ・スマート農業技術開発・供給加速化対策【R7補正】
- 〔重点課題対応型研究開発（民間事業者対応型）
- 〔低コスト・小型化等現場ニーズ即応型開発 等
- ・アグリテック系スタートアップ重点化支援対策【R7補正】
- ・生産性の抜本的な向上を加速化する革新的新品種開発【R7補正】 等

【支援イメージ】



なしの管理作業（摘果）ロボット

難度の高い技術の研究開発



中山間地域等の多様な生産現場で活用可能な管理作業機の小型化（非乗用型への転換など）

低コスト・小型化等の技術の研究開発

社会実装の下支え

スマート農業技術活用の促進のための環境整備関係

農地の大区画化や情報通信基盤の整備、スマート農業教育の充実、生産者・開発者が参画するスマート農業イノベーション推進会議の運営をはじめとしたスマート農業技術活用の促進のための環境整備を支援。

- ・農業農村整備事業【R8当初、R7補正】
- ・大区画化等加速化支援事業【R8当初】
- ・農業生産基盤情報通信環境整備事業【R8当初、R7補正】
- ・スマート農業研修教育環境整備事業【R7補正】
- ・スマート農業イノベーション推進会議（IPCSA）の運営【R8当初】 等

スマート農業技術活用促進法の認定による主な補助事業等の優遇措置（令和7年度補正）

- スマート農業技術活用促進法に基づく生産方式革新実施計画の認定を受けることで、令和7年度補正予算において、以下の各種事業で審査に当たってのポイント加算をはじめとする優先採択等の優遇措置を設けることとしています。

生産方式革新実施計画を対象とする優遇措置

- ・スマート農業・農業支援サービス事業導入総合サポート緊急対策のうち
 - ①スマート農業・農業支援サービス事業加速化総合対策事業
 - ◆：ニーズ調査、サービス提供の試行・改良等も支援 **<ポイント加算>**
- ★◆
 - ②スマート技術体系への包括的転換加速化総合対策事業 **<ポイント加算>** ●◆
 - ◆：機械に付随するソフト経費、新たな生産方式の導入に必要な経費も支援
- ・新基本計画実装・農業構造転換支援事業 **<ポイント加算>** ★
- ・産地生産基盤パワーアップ事業のうち **<ポイント加算等>** ●◆
 - ①園芸作物等の先導的取組支援 ◆：果樹・茶の改植・新植等を支援
 - ②収益性向上対策 **<ポイント加算>** ★
 - ③新市場対応に向けた拠点事業者の育成及び連携産地の体制強化支援 **<食料システム構築計画のみなし>** ●★◆
 - ◆：新技術の栽培実証等を支援
- ・国産青果物安定供給体制構築事業 **<ポイント加算>** ●★◆
 - ◆：品種・作柄安定技術や大型コンテナの導入なども支援
- ・畑作物産地生産体制確立・強化緊急対策事業 **<ポイント加算>** ●◆
- ・担い手確保・経営強化支援事業 **<優先枠の設置>** ●★
- ・地域農業構造転換支援対策のうち地域農業構造転換支援事業 **<ポイント加算>** ●★
- ・地域農業構造転換支援対策のうち新規就農者チャレンジ事業 **<ポイント加算>** ●★
- ・持続的な食料システム確立緊急対策事業のうち産地連携支援緊急対策事業 **<ポイント加算>** ●◆
 - ◆：食品事業者による種苗などの資材の提供等も支援
- ・卸売市場緊急整備事業 **<ポイント加算>** ●◆
 - ◆：卸売市場の再編集約・合理化・高度化のための施設整備を支援
- ・みどりの食料システム戦略緊急対策交付金のうち
 - ①環境負荷低減活動定着サポート **<ポイント加算>** ◆
 - ◆：みどり認定農業者等が行う環境負荷低減に資する取組をサポートする体制づくりを支援
 - ②グリーンな栽培体系加速化事業 **<補助上限額引上げ、ポイント加算>** ●◆
 - ◆：検証に必要な資材費やスマート農業機械等の導入を支援
 - ③有機農業拠点創出・拡大加速化事業 **<ポイント加算>** ●◆
 - ◆：有機農業栽培技術の実証や研修会開催に必要な経費を支援
 - ④先進的有機農業拡大促進事業 **<ポイント加算>** ●◆
 - ◆：資材導入、植栽、圃場整備等有機農業の拡大に必要な取組を支援
 - ⑤省エネルギー型ハウス転換事業 **<ポイント加算>** ●◆
 - ◆：収量・品質等を低下させずエネルギー投入量を低減できる施設園芸における栽培体系への転換実証を支援
 - ⑥地域循環型エネルギーシステム構築 **<ポイント加算>** ◆
 - ◆：地域循環型エネルギーシステムの構築のための再生可能エネルギー利用のモデル的取組を支援
- ・畜産・酪農収益力強化総合対策基金等事業のうち
 - ①畜産クラスター事業 **<ポイント加算>** ●★
 - ②ICT化等機械装置等導入事業 **<要件化>** ●◆
 - ◆：生産方式革新実施計画の認定を受けた場合、一体的な施設の補改修も支援
- ・GFP大規模輸出産地生産基盤強化プロジェクト **<ポイント加算>** ◆
 - ◆：生産・流通体系の転換に係る検証圃場の設置や必要な種子、肥料、生産資材等も支援
- ・農業生産基盤情報通信環境整備事業 **<優先採択>** ◆
 - ◆：光ファイバ、無線基地局等の情報通信施設及び附帯設備の整備を支援

当該事業で支援が可能なもの

●：農業用機械 ★：農業用施設 ◆：その他

スマート農業技術活用促進法の認定による主な補助事業等の優遇措置（令和8年度当初）

- スマート農業技術活用促進法に基づく生産方式革新実施計画の認定を受けることで、令和8年度当初予算では、以下の各種事業で審査に当たってのポイント加算をはじめとする優先採択等の優遇措置を設けることを検討しています。

生産方式革新実施計画を対象とする優遇措置

- ・強い農業づくり支援交付金のうち
 - ①食料システム構築支援タイプ<食料システム構築計画のみなし> ●★◆
 - ◆：新技術の栽培実証等を支援
 - ②産地基幹施設等支援タイプ<ポイント加算> ★
 - ③卸売市場等支援タイプ<ポイント加算> ◆
 - ◆：卸売市場施設や共同物流拠点施設の整備を支援
 - ・新基本計画実装・農業構造転換支援事業<ポイント加算> ★
 - ・スマート農業・農業支援サービス事業導入総合サポート事業のうち
 - ①スマート農業・農業支援サービス事業加速化総合対策事業<ポイント加算> ●◆
 - ◆：ニーズ調査、サービス提供の試行・改良等も支援
 - ②スマート技術体系への包括的転換加速化総合対策事業<ポイント加算> ●◆
 - ◆：機械に付随するソフト経費、新たな生産方式の導入に必要な経費も支援
 - ・持続的生産強化対策事業のうち
 - ①戦略作物生産拡大支援<ポイント加算> ◆
 - ◆：栽培技術等の導入に向けた圃場試験・マニュアル作成等に係る経費も支援
 - ②時代を拓く園芸産地づくり支援<ポイント加算> ●★◆
 - ◆：品種・作柄安定技術や大型コンテナの導入なども支援
 - ③果樹農業生産力増強総合支援<ポイント加算等> ●◆
 - ◆：果樹の改植・新植等を支援
 - ④ジャパンフラワー強化プロジェクト推進<ポイント加算> ◆
 - ◆：技術実証・マニュアル作成等に係る経費を支援
 - ⑤茶・薬用作物等地域特産作物体制強化促進<ポイント加算> ●◆
 - ◆：茶の改植・新植等を支援
 - ・米穀等安定生産・需要開拓総合対策生産力強化促進事業のうち
 - 持続的種子生産総合対策事業<ポイント加算> ●◆
 - ◆：新規導入品種への転換等に必要な栽培実証に関する支援等
 - ・みどりの食料システム戦略推進交付金のうち
 - ①環境負荷低減活動定着サポート<ポイント加算> ◆
 - ◆：みどり認定農業者等が行う環境負荷低減に資する取組をサポートする体制づくりを支援
 - ②グリーンな生産体系加速化事業<補助上限額引上げ、ポイント加算> ●◆
 - ◆：検証に必要な資材費やスマート農業機械等の導入を支援
 - ③有機農業拠点創出・拡大加速化事業<ポイント加算> ●◆
 - ◆：有機農業栽培技術の実証や研修会開催に必要な経費も支援
 - ④省エネルギー型ハウス転換事業<ポイント加算> ●◆
 - ◆：収量・品質等を低下させずエネルギー投入量を低減できる施設園芸における栽培体系への転換実証を支援
 - ⑤地域循環型エネルギーシステム構築<ポイント加算> ◆
 - ◆：地域循環型エネルギーシステムの構築のための再生可能エネルギー利用のモデル的取組を支援
 - ・農地利用効率化等支援事業<優先枠の設置> ●★
 - ・地域農業構造転換支援対策のうち地域農業構造転換支援事業<ポイント加算> ●★
 - ・地域農業構造転換支援対策のうち新規就農者チャレンジ事業<ポイント加算> ●★
 - ・グローバル産地づくり推進事業のうち
 - 大規模輸出産地モデル形成等支援事業<ポイント加算> ◆
 - ◆：生産・流通体系の転換に係る検証圃場のリースや必要な種子、肥料、生産資材等も支援
 - ・農業生産基盤情報通信環境整備事業<優先採択> ◆
 - ◆：光ファイバ、無線基地局等の情報通信施設及び附帯設備の整備を支援
- 当該事業で支援が可能なもの
●：農業用機械 ★：農業用施設 ◆：その他

開発と普及の好循環を形成する官民連携の推進体制（IPCSA）

スマート農業イノベーション推進会議（IPCISA）について

- スマート農業技術活用促進法及び基本方針に基づき、スマート農業技術の開発と普及の好循環の形成を推進していくため、農業者が中心となって運営する多様なプレイヤーが参画したスマート農業イノベーション推進会議（IPCISA）※を設置。

※IPCISA : Innovation Promotion Conference for Smart Agriculture

- 同会議において、情報の収集・共有・発信、関係者間のマッチング、人材の育成、技術的な検討等を通じ、コミュニティ形成を促進することとしており、令和7年度より本格的に活動を開始。

■ IPCISAの構成員

※会員数：1538（R8.2.12時点）



コミュニティ形成の推進を支援

■ IPCISAの運営

○ 運営委員

- (株) 浅井農園 浅井 雄一郎 代表取締役 **【運営委員長】**
- (株) アグリーンハート 佐藤 拓郎 代表取締役
- (株) 鈴生 鈴木 貴博 代表取締役社長
- (株) ファームノートデーリィプラットフォーム
平 勇人代表取締役
- (株) 日本農業 内藤 祥平 代表取締役CEO
- (株) 三浦農場 三浦 尚史 代表取締役
- (株) 日本総合研究所創発戦略センター
三輪チーフスペシャリスト

○ 事務局

農水省技術政策室及び
農研機構スマート農業施設供用推進プロジェクト室

詳細及び
入会は[こちら](#)



活動内容①（情報の収集・共有・発信）

- ① 専用サイトを通じて、スマート農業技術に関する情報を一元的に管理。
- ② 国内外の研究開発・実用化の動向、技術の紹介、全国各地のイベント・研修スケジュール、最新トピックや優良事例等をわかりやすく情報発信。

専用サイト

調査

- スマート農業技術の国内外の開発・実用化の動向（技術スペック、実用化・普及に至った要因、環境整備方策（情報セキュリティ、人材育成等）等）に関する調査を実施。
- スマート農業技術の導入による経営効果（導入前後の経営収支比較、新たな栽培方式への転換状況等）に関する調査を実施。

イベント・研修

- 全国各地のスマート農業関連のイベントや研修等を掲載。

イベント情報

開催日	2025年10月1日（水）～3日（金）10:00～16:00
開催場所	豊砂公園（イオンモール幕張新都心内） https://space-media.aeonmall.com/spaces/1704/event
参加料	無料
お問い合わせ先	IPCSA（スマート農業イノベーション推進会議）事務局 メール：jp_ipcsa_jimukyoku@pwc.com 電話：050-1724-2916

コラム・動画

- スマート農業技術に係るトピックや優良事例、スマート農業技術活用促進法に基づく計画認定の実績等を発信。
- IPCSAの機能やスマート農業技術の紹介、先進的な農業者へのインタビュー、イベントの様子等を配信。

技術情報

- 会員プロフィールページを通じて、スマート農業技術や関連サービスを紹介。

会員検索・会員一覧から「カタログ検索」をクリック

検索条件「対象営農類型」から「果樹」をチェックして「検索する」をクリック

画面下の検索結果を確認各企業等の「製品・サービス」をチェック

活動内容③（人材の育成）

- ① スマート農業技術を使いこなし、経営改善に取り組むことができる人材を育成するため、**IPCSA独自の研修をモデル的に実施。**
- ② 専用サイトを通じて、**スマート農業に関する講師や技術指導等ができる人材を紹介。**

令和7年度に実施した研修

- スマート農業技術を活用して、「持続可能な農業」の実現に資する経営改善ノウハウをテーマに企画。
- 研修内容や資料、成果等は専用サイトに共有し、全国各地の研修企画者等が参考素材として活用できるモデル的な内容とする。

【第一回】

- スマート農業技術の概況（実演、操作含む）、経営基礎を学習

【第二回】

- 個別事例の比較検証を通して、地域（自身）の経営課題を分析し、課題に応じた経営計画の作成

【第三回】

- 有識者等との多様な観点から議論を通じて、経営計画を改善

研修内容、成果等を専用サイトに公開

全国各地で効果的な研修の実施

専用サイト

- 会員プロフィールを通じて、講師や技術指導等の実績が検索でき、必要な人材を紹介。

【氏名】●●（株）
【業種】畑作、露地野菜
【取組】
農薬散布サービス（ドローン）
【実績・PR】
農業支援サービス（人材供給）

サービス
事業者

【氏名】●●農園
【業種】農業法人
【取組】
水稻を栽培。年に2回産地内の生産者を集め、実習会を実施。
【実績・PR】
技術指導等

農業者

人材を紹介します！



事務局

【法人・団体名】●●
【業種】ソフトウェア事業
【取組】
営農管理システムを開発
【実績・PR】
講師実績あり

メーカー

【氏名】●●大学△研究室
【業種】大学
【取組】
AIによる画像解析技術の高度化
【実績・PR】
講師実績あり

研究者

活動内容④（技術的な検討）

- ① スマート農業技術の活用を促進する上で対応が必要な共通課題について、**関係者で議論する場**（プラットフォーム、検討会）を設置。
- ② **農業者が先頭に立って、技術開発や普及をリード**するなど、会員が主体的に課題解決に取り組み、**IPCSEA全体を活性化**。

プラットフォーム・検討会の目的

- 営農類型別・共通の課題を議論する場。活動を通じて、**農業者が先頭に立って技術開発や普及をリードする機会の創出につなげる等、農業者が主体的にIPCSEAに参画し、IPCSEAの各種取組を活性化**。
- 本会合の趣旨・目的に賛同する関係者を事務局が招集し実施。

実施イメージ

